

資源管理基礎調査（海洋環境）

沿岸定線観測

（要約）

小泉広明

目 的

青森県日本海、太平洋、津軽海峡の沿岸域における漁況・海況情報を収集し、得られた情報を漁業者等に提供する。

材料と方法

青森県日本海の沿岸と沖合、太平洋沖合で定線観測を実施し、対馬暖流（日本海）及び津軽暖流（太平洋）の流勢指標を平年（1963～2010年平均値）と比較した。また、収集・分析した情報は、ウオダス漁海況速報や研究所のホームページを通じ情報提供を行った。

結 果

A. 海況の推移

- ・青森県日本海沖合における対馬暖流の勢力は4月から10月はやや弱勢、10月から12月はかなり強勢で推移した。
- ・青森県太平洋沖合における津軽暖流の勢力は、3月は平年並、6月はかなり強め、9月は平年並、12月はやや強めに推移した。

B. 主要魚種の漁獲動向（2011年）

- ・2011年の本県の漁況の特徴は全県的なマイワシの不漁、サバの好漁、日本海のマグロやブリ、マダイの好漁であった。特に、日本海のマダイは178トンと、1986年以降最高の漁獲となった。